説明書 No. SPV-BⅡ 1109-140108

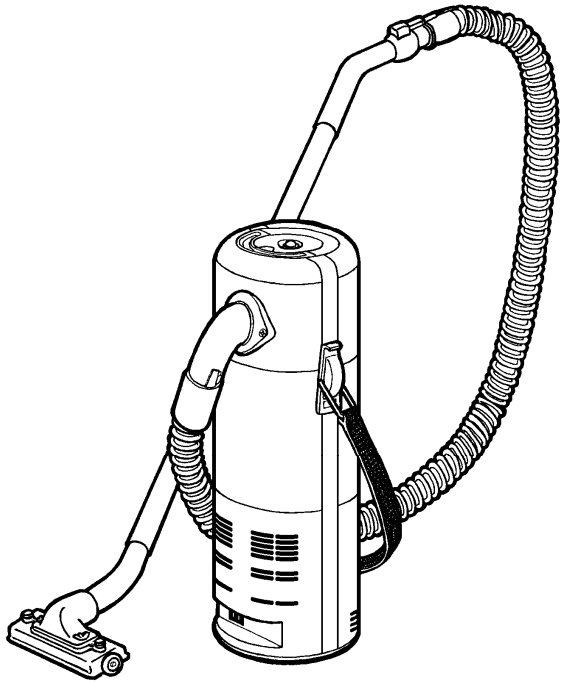
Suiden

スーパークリーナー《超乾湿両用》

ミニクリーンボトル
SPV-B101A-Ⅱ

取扱説明書

吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	○
油類	○



本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suidenスイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

本機は防爆構造ではありません

もくじ

1 安全のために必ずお守りください…… 1
2 仕様…… 3
3 各部の名称と付属品…… 4
4 ご使用方法…… 5
　1.吸引するゴミによる使い分け …… 5
　2.ホース …… 7
　3.ノズル …… 8
　4.電源コード …… 8
　5.スイッチ …… 8
　6.風量調節リング …… 9
　7.ちりおとし装置 …… 9
　8.フィルター …… 9
　9.ゴミを捨てる(タンクの取外し方法) … 10
5 お手入れ…… 10
　1.お手入れ …… 10
　2.フィルターのメンテナンス …… 11
6 こんなときは（故障かな？と思ったら） … 12
7 安全のための点検のお願い…… 13
8 消耗品と専用オプションのご案内…… 13
9 アフターサービスと保証について…… 15

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースする）

●搬入・移動上の注意事項

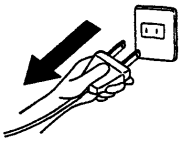
⚠ 注 意	
搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警 告	
定格15A以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。	アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。
濡れた手で、差込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガの恐れがあります。	本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。 ＊ショートや感電、火災の原因になります。
灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。
ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト（石綿）類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 ＊環境汚染・健康障害につながる危険性があります。	

⚠ 注　意

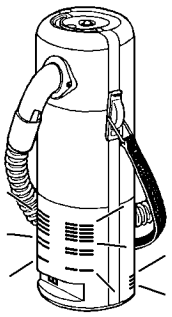
動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。
＊感電･漏電･ショートなどによる火災の恐れがあります。



交流100V以外で使用しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

電源コード先端のアースクリップでアースする。特に床に水気があるところでは、必ずアースする。
＊アースしないと、感電の危険があります。

吸引中は、吸込み口や吸気口・排気口をふさがない。
＊モータの温度上昇などにより、事故が発生する可能性があります。
本機下部のスリット部が、吸気口および排気口になっています。



パイプやホースに吸引物などが詰まって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。
＊モータの温度上昇などにより、事故が発生する可能性があります。

横倒しでの使用は絶対にしない。
＊液体などが吹きこぼれ、ケガや事故の原因になります。

液体の吸引中・吸引後は、本機を横に倒さない。
＊モータ焼損や故障、事故の原因になります。

屋外の雨水のかかる場所で使用しない。
＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。

温度の高い(40℃を超える)場所で使用しない。
＊火災の原因になります。
使用雰囲気温度範囲は0℃～40℃です。

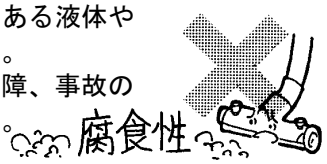
浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。
＊吸気側からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。

湿度の高い場所で使用しない。
＊感電・火災・故障の原因になります。
雰囲気湿度80%以下でご使用ください。

シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、加工直後の高温の切粉、火のついたたばこの吸いがら、熱を持った物質などは吸引しない。
＊爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。

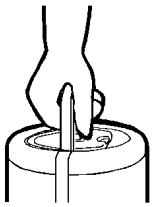
セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

海水など腐食性のある液体や粉体は吸引しない。
＊モータ焼損や故障、事故の原因になります。



泡立つものは吸引しない。
＊泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡があふれて漏電したり、着衣が汚れる危険があります。また、モータ故障の原因になります。

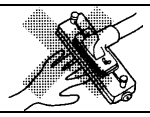
クリーナーを移動するときは、トップハンドルやショルダーベルトを持って動かす。
＊電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースが破損し、火災・感電・汚染事故の原因になります。



火気に近づけない。
＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。

ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。
＊ホース破損による汚損事故の原因になります。

吸込み口に手や指を入れない。
＊ケガの原因になります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

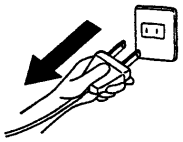
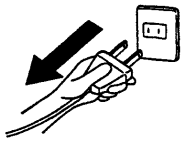
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。
＊コードが発熱して火災の恐れがあります。
必ず伸ばした状態で使用してください。

電源プラグにピンやゴミを付着させない。
＊感電やショートして発火することがあります。

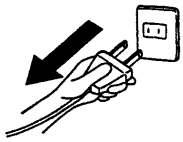
延長コードは、適切なものを選んで使用する。
＊延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込まない。
＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。
＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

⚠ 注 意	
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。 	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。 
くわえたばこをしたままゴミを捨てない。 ＊たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。	ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 ＊健康を害する恐れがあります。

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作をすることがあります。	フィルターの清掃や、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをする恐れがあります。 
フィルターの洗浄にシンナー液を使用するときは、火気を近づけない。 ＊火災や事故の危険性があります。	フィルターの洗浄にシンナー液を使用するときは、換気を充分にする。 ＊シンナー中毒になる危険性があります。

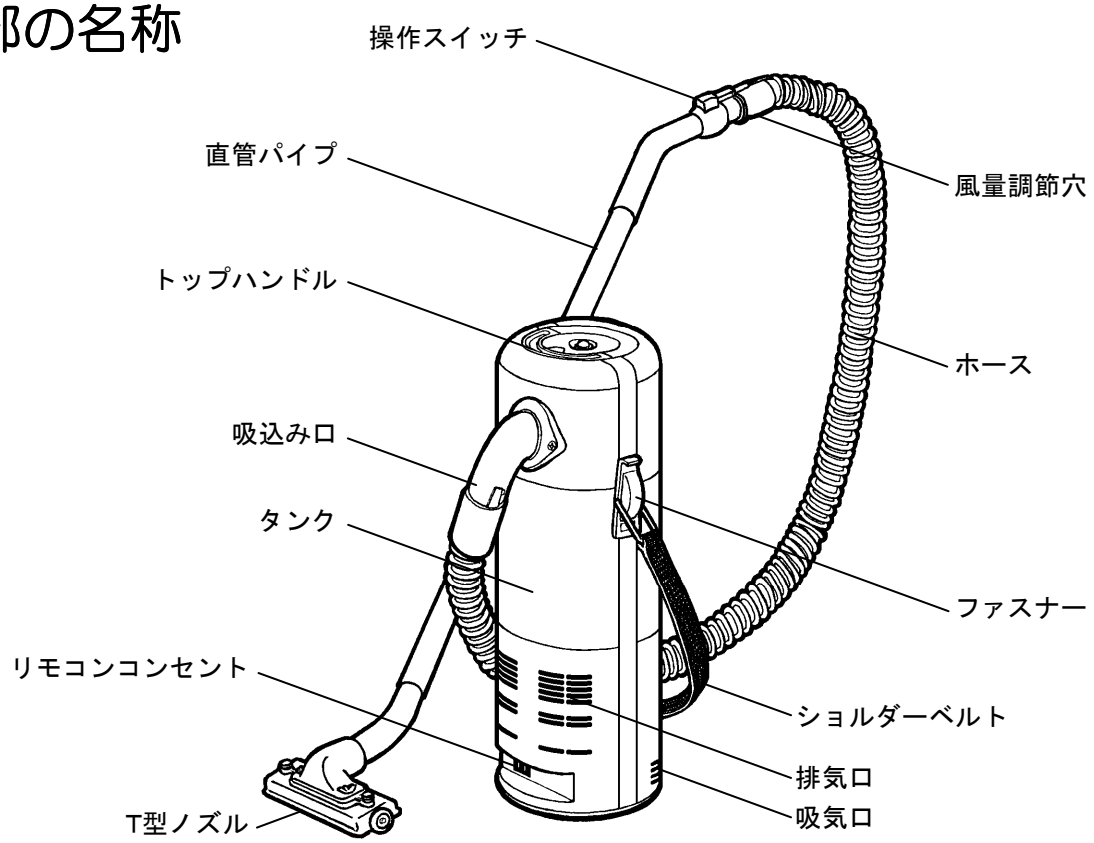
2 仕様

品　　番	SPV-B101A-Ⅱ
電　　源	100V
消 費 電 力	1050 W
電　　流	11 A
最 大 風 量	2. 2 m^3/min
最大真空圧	20.6 kPa
フィルター面積	0.25 m^2
タンク実容量	4L（液体3L）
ホ　ー　ス	径φ38×長さ1.2m
電源コード	長さ8m（アースクリップ付き）
本 体 寸 法	幅240×奥行き260×高さ550mm
質　　量	8. 5kg（本体のみ 7kg）
備　　考	●ショルダーベルト　●ちりおとし機能付き手提げ用トップハンドル　●手元スイッチ

注記	
	①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。 ②タンク実容量は、粉じんと液体吸引それぞれの容量を表示しています。合計容量は吸引できません。 ③質量には、ホース、直管パイプ1組、T型ノズルの質量を含みます。

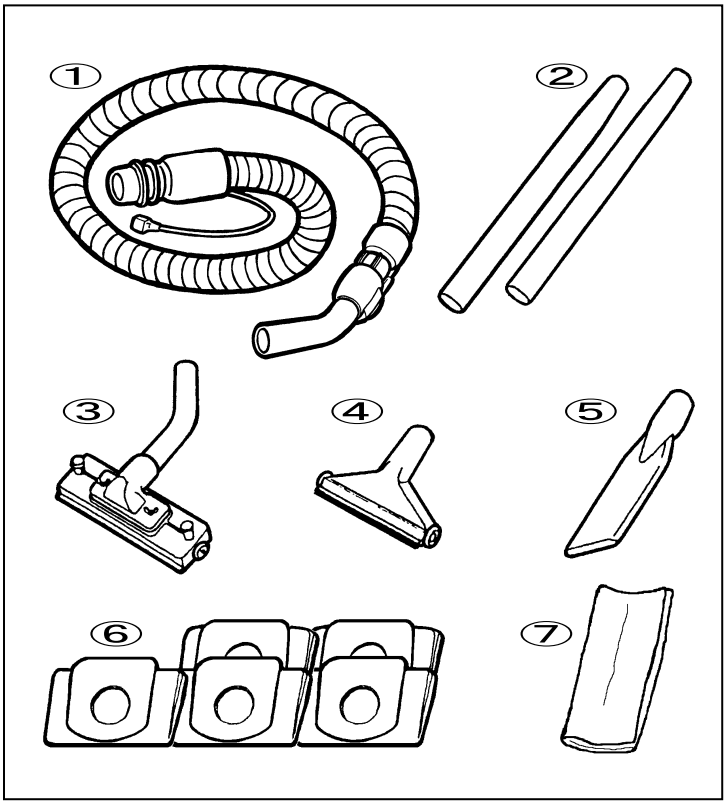
3 各部の名称と付属品

各部の名称



付属品

① φ38ホース組品SPV-B101AⅡ …1本
② φ38樹脂直管パイプ2本組 ……1組
③ φ38-25Ｔ型ノズルセット品……1個
④ φ38-20水切ノズル……1個
⑤ φ38スキマノズル大……1個
⑥ ペーパーダストパック ……5枚
⑦ ポリ袋 ……5枚



4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記 ①ペーパーダストパックをセットしているときは、液体や湿気のあるものは吸引しないでください。
目詰まりによる吸引力低下の原因になります。
②タンクとクリーナー上部の間に隙間がないように、ファスナーで確実に固定してください。
隙間があると、吸引できません。

1. 吸引するゴミによる使い分け

本機は≪超乾湿両用型≫です。吸引するものによって、ペーパーダストパックまたはポリ袋を選択し、タンクにセットしてください。

●乾燥したゴミや粉じんを吸引する……ペーパーダストパックをご使用ください。

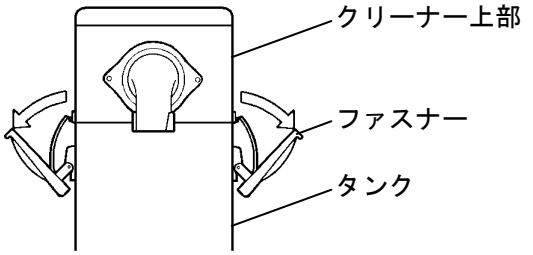
●生ゴミ・汚物や液体を吸引する……ポリ袋をご使用ください。
付属のポリ袋のほか、市販のポリ袋もご利用いただけます。
口幅300mm×深さ350mm×厚さ0.04mm 以上のポリ袋をご用意ください。

●ペーパーダストパックを使用するとき

(1) クリーナー上部を外す

タンクとクリーナー上部をつないでいる2か所のファスナーを外し、タンクからクリーナー上部を取ります。

ファスナーは、ファスナー上部に指を掛け、斜め下方向に引っ張ると簡単に外れます。

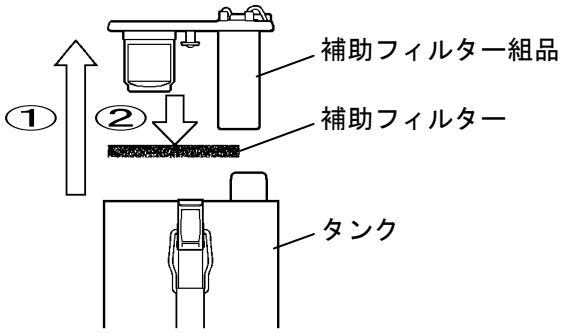


(2) ペーパーダストパックをセットする

① タンクから補助フィルター組品を取出します。

② 補助フィルター組品から補助フィルターを外します。

注記 ①補助フィルターは、無くさないように保管してください。
②液体を吸引するときは、再び補助フィルターを取付けてください。



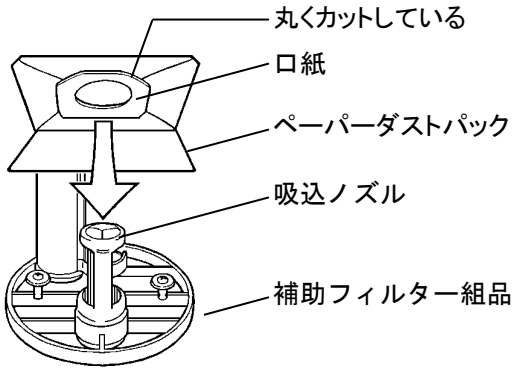
③ 机の上などに、吸込ノズルを上にして補助フィルター組品を置きます。

④ ペーパーダストパックを広げて、補助フィルター組品に取付けます。

1) 吸込ノズルにペーパーダストパックの口紙をあてがい、奥までしっかりと差込んでください。

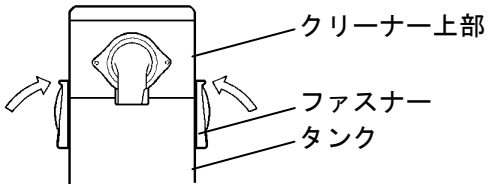
2) ペーパーダストパックの口紙の丸くカットしている方を、補助フィルター組品の外周に合わせてください。

⑤ ペーパーダストパックを取付けた補助フィルター組品を、タンクの元の位置に戻します。
吸込ノズルの向きにご注意ください。



(3) タンクにクリーナー上部を載せる

クリーナー上部の吸込み口とタンク内の吸込ノズルの位置を合わせて、ファスナー(2か所)でしっかり固定してください。

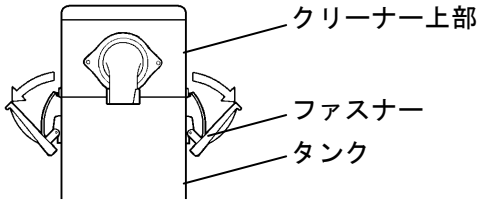


●ポリ袋を使用するとき

(1) クリーナー上部を外す

タンクとクリーナー上部をつないでいる2か所のファスナーを外し、タンクからクリーナー上部を取ります。

ファスナーは、ファスナー上部に指を掛け、斜め下方向に引っ張ると簡単に外れます。

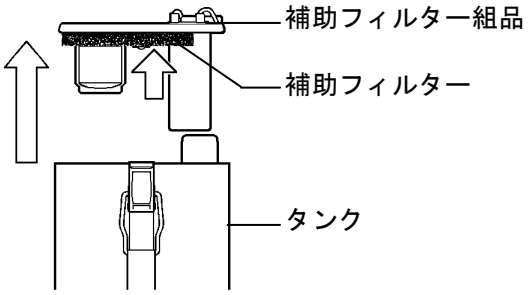


(2) 補助フィルター組品を外す

① タンクから補助フィルター組品を取出します。

② ペーパーダストパックをつけているときは、補助フィルター組品から外してください。

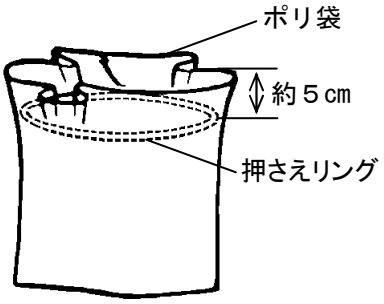
③ 補助フィルターを外しているときは、補助フィルター組品につけてください。



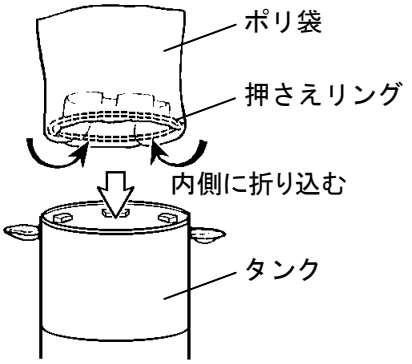
(3) ポリ袋をセットする

※付属のポリ袋のほか、市販のポリ袋もご利用いただけます。
ポリ袋は折寸法で、口幅300×深さ350×厚さ0.04mm以上のものをご用意ください。

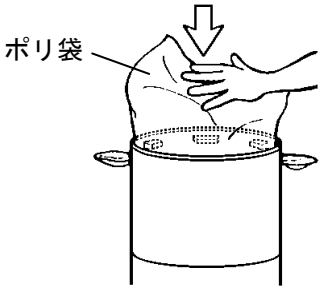
① タンクから袋押さえリングを取出し、ポリ袋に入れます。
ポリ袋の口部分が袋押さえリングから5cm位出る位置まで入れてください。



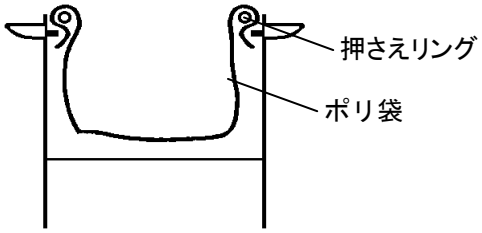
② 袋押さえリングをつつみこむようにポリ袋を内側に折込み、その状態のまま袋を逆向きにしてタンクにセットします。



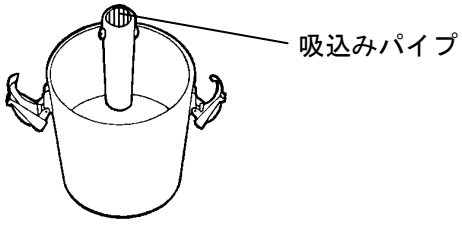
③ タンクから出ているポリ袋をゆっくり押さえて、タンク内に入れます。



④ ポリ袋が図のようにタンクにセットできます。

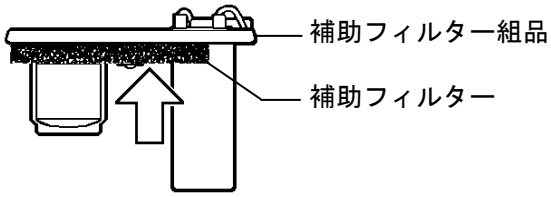


注記 タンク内部にある吸込みパイプの穴をポリ袋でふさがないでください。



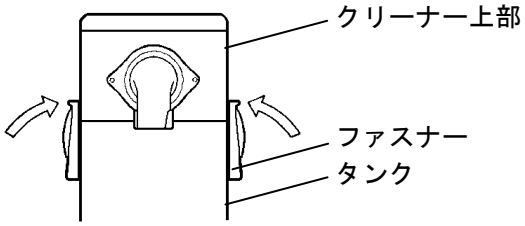
(4) 補助フィルター組品をタンクに戻す

補助フィルター組品に、補助フィルターがついていることを、ご確認ください。



(5) タンクにクリーナー上部を載せる

クリーナー上部の吸込み口と、タンク内の吸込ノズルの位置を合わせて、ファスナー(2か所)でしっかり固定してください。

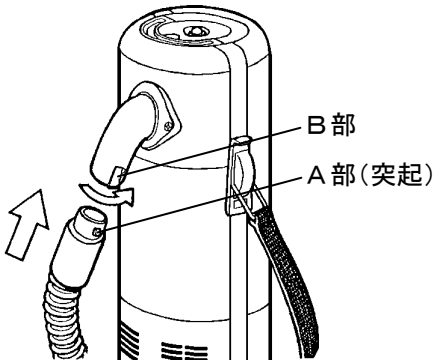


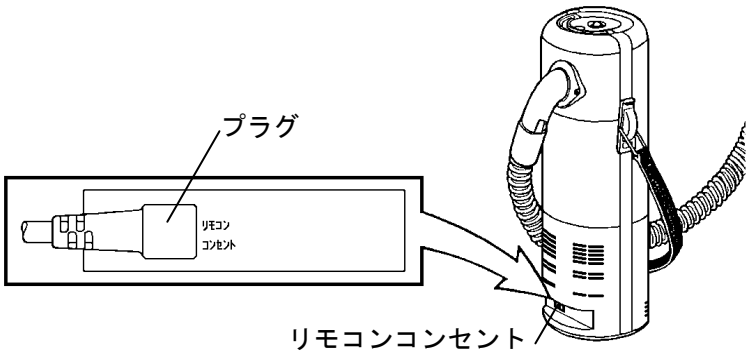
2. ホース

(1) ホースの接続方法

① ホースＡ部の突起を本体吸込み口Ｂ部に合わせて差込み、右図の矢印の方向に回して固定してください。

② ホースについているプラグをクリーナー下部にあるリモコンコンセントに差込んでください。

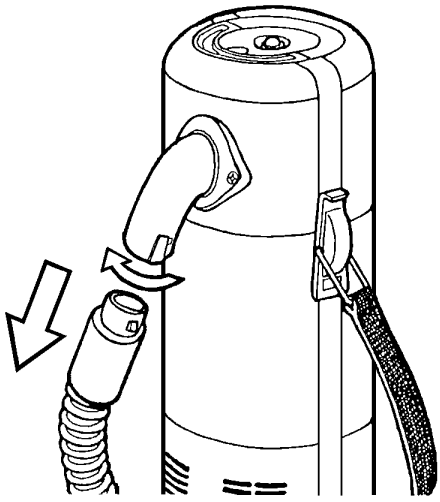




(2) ホースの取外し方

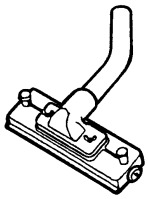
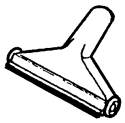
① ホースから出ているプラグをクリーナー下部のリモコンコンセントから抜いてください。

② ホースを矢印の方向に回してから吸込み口より引抜いてください。



3. ノズル

吸引対象物に応じて、パイプの接続本数と、接続するノズルを選択してください。

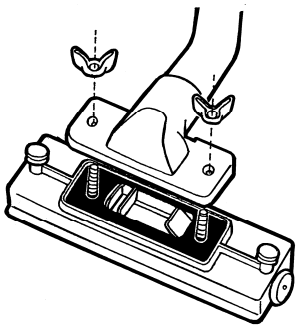
≪φ38-25T型ノズルセット品≫	≪φ38-20水切ノズル≫	≪φ38スキマノズル大≫
清掃全般にご使用いただけます。 	液体類の吸引にご使用ください。 	隙間などの清掃にご使用ください。

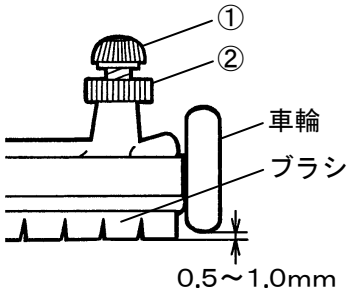
●φ38-25T型ノズルセット品の組立方法

右図のように組立ててください。

ノズルの組立てが終わったら②のナットをゆるめて、①のネジで車輪がブラシより0.5～1.0mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。

最後にもう一度②のナットを締めなおします。





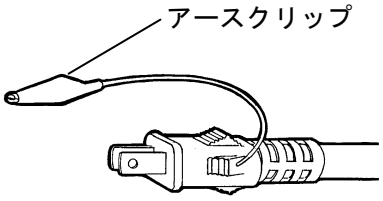
注記	床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので、使用途中でもときどき調整してください。

4. 電源コード

① 電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。

② コード先端にアースクリップがついていますので、感電事故防止のため、必ずアース線を接続してください。

③ ご使用後は、感電事故防止のため、電源コードを必ずコンセントから抜いてから、ねじれのないように巻いて保管してください。

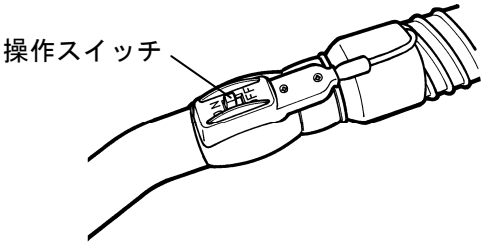


5. スイッチ

手元パイプの操作スイッチで、操作します。

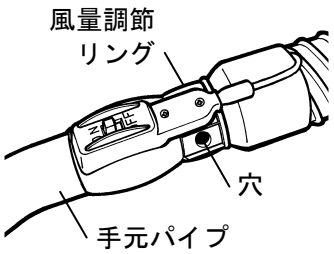
●ＯＮ　……電源が入り、吸引を始めます。

●ＯＦＦ……電源が切れます。

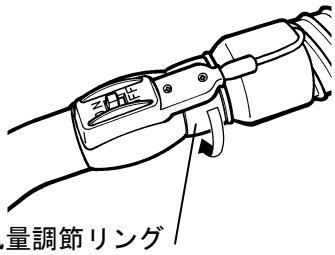


6. 風量調節リング

① 水槽などの水や油類を吸わせるときは、ホースの手元パイプにある風量調節リングを回して、穴が開いた状態でご使用ください。



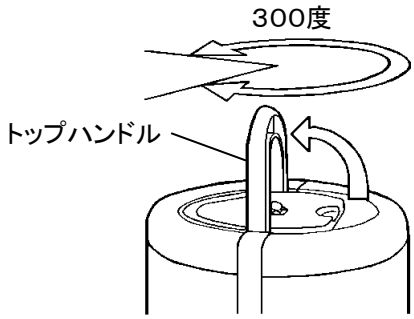
② 液体以外の通常の掃除の際は、手元パイプの風量調節リングの穴を閉じてご使用ください。



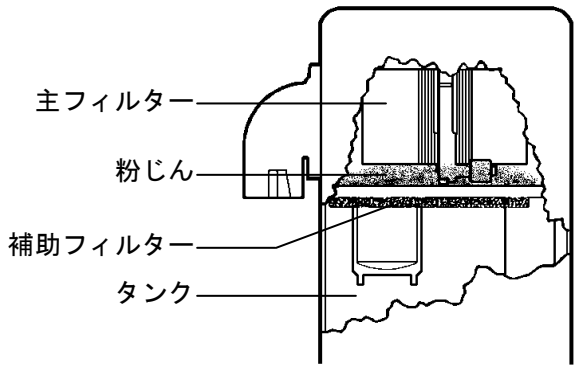
7. ちりおとし装置

① フィルターにゴミが付着すると、吸引能力が低下しますので、適時フィルターのちりおとしをしてください。

② クリーナー上部にあるトップハンドルを回すと、ちりおとし装置が連動して、ちりおとしができます。
ストッパーがついていますので、300度の範囲で回してください。



③ 補助フィルターを装着した状態で、粉じんを吸うと、主フィルターと補助フィルターの間に粉じんがたまり、ちりおとし装置を回転させてもタンクに粉じんは落ちません。
補助フィルターを外してちりおとし装置を回転させてください。



8. フィルター

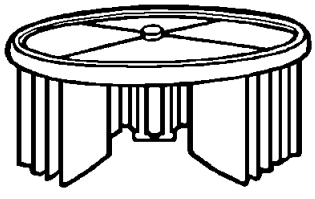
注記 ①フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。
※フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。
②フィルターの着脱方法は、11ページ「フィルターの交換手順」の項をご参照ください。

① フィルターが湿っているときは、排気口から水滴(油滴)が霧状態で出る場合があります。そのときは、次のような処置をしてください。

●水滴が出たとき……何も吸引させないで数分間のカラ運転を行ってフィルターを乾燥させてください。

●油滴が出たとき……フィルターを取外し、洗い油などで洗った後、シンナー液で再度洗浄してください。
洗浄後、充分乾燥させてから、クリーナーに装着してください。

主フィルター



② フィルターは、水洗いができます。
フィルターのメンテナンスは、11ページをご参照ください。

補助フィルター

9. ゴミを捨てる（タンクの取外し方法）

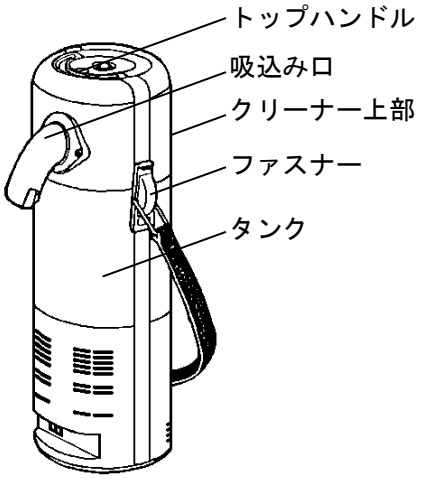
① タンクに溜まったゴミや液体などを放置しておくと、異臭の発生原因になります。
定期的にタンクのゴミや液体を捨ててください。

② 2か所のファスナーを外して、トップハンドルを持ち、クリーナー上部をタンクから引き上げてください。

③ タンク内のゴミを捨ててください。

④ クリーナー上部を装着するときは、吸込み口の向きに注意して、2か所のファスナーで確実に固定してください。（右図参照）

注記	産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。



5 お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

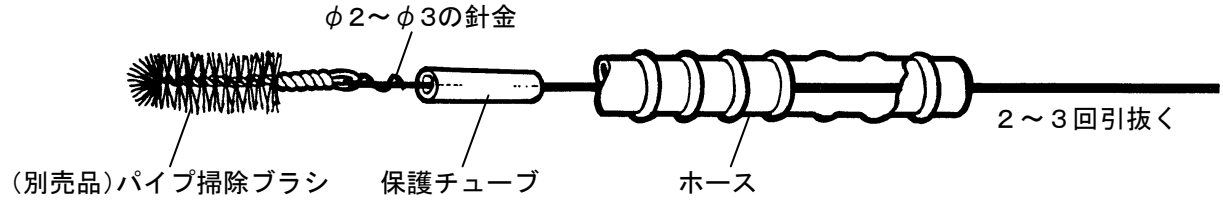
なお、洗剤によっては樹脂部に使用できないものもありますので、ご使用洗剤の注意ラベルをご確認ください。

樹脂に使用できる洗剤でも、化学反応によりひび割れの原因になる場合がありますので、水拭きをして洗剤分を落としてください。

注記	石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

≪ご参考≫パイプとホースの清掃

パイプやホースの内側に吸引物が付着すると、吸引能力が著しく低下する場合があります。
性能低下を防ぐため、ホース内側にコレステロールのようにたまった吸引残留物を掃除してください。
下図例のようなブラシと針金（φ2～φ3程度）をつなげて、2～3回ホース内側を通過させると掃除できます。
洗い油で洗えば繰り返し使える「パイプ掃除ブラシ（保護チューブ付き）」を、別売品でご用意しています。



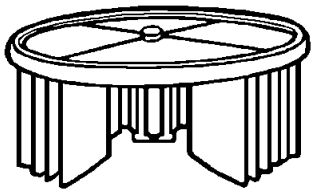
2. フィルターのメンテナンス

注記	フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。 ＊フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。

フィルターの目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外して歯ブラシなどでフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除いた後、水洗いをしてください。

水洗いをした後、クリーナーに再び取付けてから数分間のカラ運転をすると、フィルターが乾き、使用可能な状態になります。

主フィルター



補助フィルター

フィルターの交換手順

① クリーナー上部からタンクを外してください。

② クリーナー上部の吸込み口を固定しているM5×40ネジ(2本)をドライバーで外します。

③ クリーナー上部から、吸込み口、吸込み口パッキン、インナーダクトを取外します。

④ クリーナー上部の主フィルターの中心部に、ちりおとしカラーがあります。
ちりおとしカラーは、Eワッシャーでシャフトに固定していますので、マイナスドライバーなどを利用してEワッシャーを外し、ちりおとしカラーを取外してください。

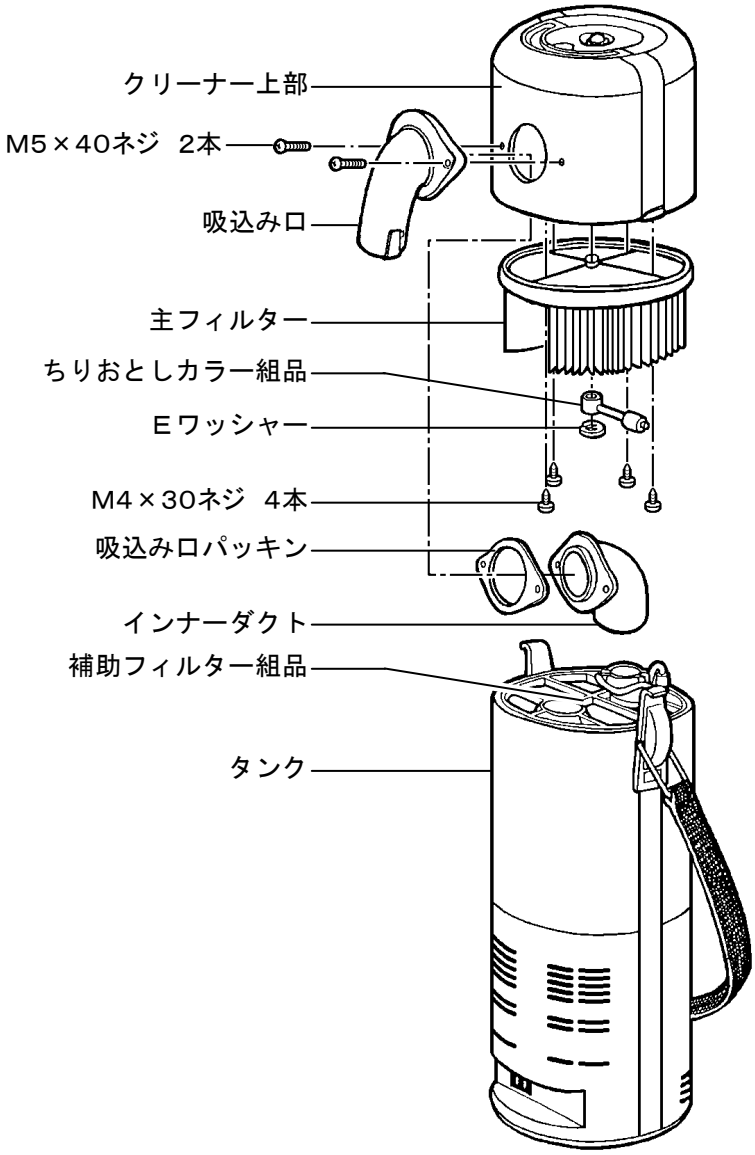
⑤ 主フィルターをクリーナー上部に固定しているM4×30ネジ(4本)をドライバーで外します。

⑥ 主フィルターを取外します。

⑦ 新しい主フィルターを取付けます。

⑧ 以上と逆の手順で組めば完了です。

⑨ クリーナー上部をタンクにセットするときは、タンクの吸込み口の向きに注意して、2か所のファスナーで確実に固定してください。



6 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったときは、まず下記項目をご確認ください。

症　状	調べるところ	直し方
•モータが回転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーが落ちた原因を解消してください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
	補助フィルター組品が、正しい位置にセットされていますか？	接点を合わせて正しくセットしてください。
	本体内蔵のヒューズが切れていませんか？	修理技術者に連絡して、ヒューズが切れた原因を取除いた上、専用の管ヒューズを交換してください。
•吸引しない。 •発生音が高くなった。	ゴミや液体がタンク一杯になっていませんか？	タンク内のゴミや液体を処理してください。
	ペーパーダストパックにゴミが満杯になっていませんか？	ペーパーダストパックを交換してください。
	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
	モータのカーボンブラシが減っていませんか？	販売店に点検をご依頼ください。 カーボンブラシの交換が必要です。
•吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていませんか？	詰まっているものを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	クリーナー上部とタンクは完全に密閉していますか？ 隙間ができていませんか？	クリーナー上部とタンクを正しく合わせて、ファスナーで確実に固定してください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	①ちりおとし装置でフィルターのホコリを落としてください。 ②汚れがひどい場合は、フィルターを水洗いしてください。
	補助フィルターが目詰まりしていませんか？	補助フィルターを外して、水洗いしてください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

7 安全のための点検のお願い

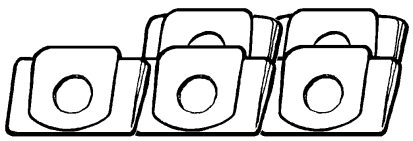
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。不具合が見つかったときは、速やかに処置してください。
※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。
部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
差込みプラグに変形やガタはありませんか？	電源コードの交換が必要です。
アースクリップは、ガタなどがなく正常に機能していますか？	電源コードの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていませんか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	フィルターを交換してください。
フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
ファスナーは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ファスナーは変形していませんか？	ファスナーの交換が必要です。
ファスナー締付けネジはゆるんでいませんか？	締め直してください。
タンクは変形していませんか？	タンクの交換が必要です。
タンク内にゴミや液体がたまっていませんか？	ゴミや液体を処理してください。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	吸込み口が前向き(リモコンコンセントと同方向)になるように、正しく装着してください。
各部のボルト、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

8 消耗品と専用オプションのご案内

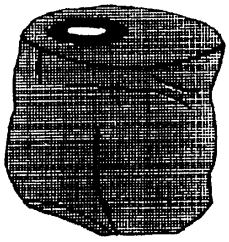
ペーパーダストパック(5枚入)



≪専用オプション≫ダストパックSPV-B101A

繰り返し使用できる、乾いたゴミや粉じん用のゴミ袋です。
使い捨ての「ペーパーダストパック」の代わりにご使用ください。

・クリーナーへの装着方法は、5ページ「ペーパーダストパックを使用するとき」をご参照ください。
・ダストパックに溜まったゴミは、側面ファスナーを開けて捨ててください。
・ダストパックが汚れたら、水洗いをして、よく乾かせてから再使用してください。



＊＊＊＊＊ご存知ですか？ 粉じん爆発と静電気防止に関する豆知識＊＊＊＊＊

●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

≪主な爆発性ガスの種類≫

爆発等級	発火度					
	G1	G2	G3	G4	G5	G6
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソプレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

≪主な爆発性および可燃性粉じんの種類≫

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム（含脂）	亜鉛、チタン、コークス カーボンブラック、鉄 石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖、ゴム 染料、ポリエチレン、フェノール樹脂 ココア、リグニン、米ぬか、硫黄

●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電気的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。
  表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したものほど帯電は少なくなります。

≪帯電序列の例≫

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
（＋）	（＋）	（＋）	（＋）
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クローム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフロロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
（－）	（－）	（－）	（－）

9 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶ **お願い** **異常があればご使用を即、中止!!**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	お買い上げ年月日 年　月　日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室　フリーダイヤル　0120-285-240
Eメールでのお問い合わせは　info@suiden.com
株式会社スイデン　奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘3-26　ホームページ　http://www.suiden.com